

「令和3年度若年技能者人材育成支援等事業」推進計画

令和3年度においては、令和2年度の事業実績等を踏まえ、ものづくりマイスター及びITマスター等（以下「ものづくりマイスター等」という。）の中小企業・工業高校等への派遣による各種技能の実技指導等での積極的な活用をはじめ、若年技能者の競技大会への参加促進やイベント等を通じた地域における技能振興に取り組み、併せて、それらの事業実施に当たっては、引き続き、地域の企業、教育関係機関及び技能士関係団体等との緊密な連携の基に、より効果的な推進を図る。

1 事業の実施体制

技能振興コーナーに若年技能者の人材育成に係る相談窓口を設けて専任者を置き、ものづくりマイスター等の派遣のコーディネートや地域の技能振興の支援等を実施する。

2 ものづくりマイスター等の活用等事業

(1) ものづくりマイスター等の開拓・認定手続等の実施

実技指導ニーズの高い職種のものづくりマイスター等の候補を掘り起こし、所定の認定申請手続を支援する。また、認定されたものづくりマイスター等に対し、所要の指導技法等講習会を実施する。

(2) ものづくりマイスター等の制度の紹介

企業、学校等関係者への積極的な訪問や、ホームページ等を通じて、一層の制度の紹介と活用等の促進を図る。

(3) ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施

中小企業や教育関係機関等にもものづくりマイスター等を派遣し、技能競技大会の競技課題や技能検定の実技試験の課題等を活用し、若年技能者等の高度な技能の習得を支援する。

(4) 「ものづくりの魅力」の発信（工業高校等を除く。）

小・中学校等にもものづくりマイスター等を派遣し、次の取り組みを行い、技能・ものづくりの魅力発信を図る。

① 児童・生徒・教師及び保護者等を対象に、ものづくりマイスター等が、ものづくり等について、体験してきた素晴らしさを講義するとともに、体験講習を行う。

② 児童・生徒の情報技術への関心等を喚起するとともに、情報技術を適切かつ十分に活用し得る職業能力を支援できるよう、ITマスターを活用した「ITの魅力」発信を行う。

(5) その他若者等に対する「ものづくりの魅力」発信等

① 地域若者サポートステーションからの要請に可能な限り応じ、同ステーションの支援対象者を対象に、ものづくりマイスターを派遣してものづくり体験等を行う。

3 地域における技能振興事業

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

① 技能五輪全国大会の岡山県予選の実施

技能検定の2級実技課題による予選を行わない競技職種について、岡山県予選会を実施する。

② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援

これらの大会に岡山県の若年技能者が参加する場合、当該選手とその指導者の参加旅費及び持参工具の運搬費(大企業は除く。)の援助を行う。

(2) 技能の重要性等への理解と技能者の技能の活用・伝承を促進するための取組

① おかやまものづくりフェア 2021 の開催

来場者が、ものづくりを身近に感じ、見て、触れて、体験でき、ものづくりの重要性・必要性や素晴らしさを実感できる県民参加型のフェアを開催する。

- 時 期 令和3年11月
- 会 場 コンベックス岡山 中展示場
- 内 容
 - ・ものづくり体験コーナー及び職人の技実演コーナー
 - ・「現代の名工」等による作品展示
 - ・若年者の各種競技大会での岡山県選手の活躍についてパネル展示により紹介
 - ・ロボットを活用したIT技術の体験等

- 来場者目標 3,000人

② 小・中学生のものづくり体験教室の実施

ものづくりの直接体験と作品完成の喜びの実感が、技能の魅力や技能者の役割への理解等の向上促進に資するよう、熟練技能者等によるものづくり体験教室を実施する。

③ ブロックごとのイベントの協力実施

中央技能振興センターによる全国各ブロックごとのイベントのうち、中国・四国ブロックで行われるものについて、依頼に応じ協力して実施する。

- (内容)・技能競技大会展
・技能士展の実施

④ その他地域の技能振興の応援事業の周知等

中央技能振興センターにより行われる地域の技能振興の取組を応援する事業について、周知や応募受付等の業務を実施する。

- 「地域発！いいもの」応援事業
- グッドスキルマーク事業

4 連携会議の設置等

国、県、経済団体、民間企業等を構成員(18名予定)とする連携会議を設置し、会議は年2回開催する。

第1回(年度当初)

推進計画(地域の産業特性や就業構造等を踏まえたものづくりマイスターや技能振興の取組、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の方針)の決定等

第2回（年末）

当年度の事業実施状況等の報告及び次年度推進計画（原案）の協議 等